

問 医療制度において75歳という年齢で区分することについては違和感があるが、すぐに制度廃止ではなくより良い制度に移行することが望ましいと考える。

◆ワクチン接種助成について

問 新型インフルエンザワクチン接種の助成について、低所得者や妊婦に加えて子どもにも拡大すべきと考えるがどうか。(柴田)

答 子どもへのワクチン接種については、過去に集団免疫効果は認められなかったということもあり助成することは考えていない。

心配される
経済不況の
影響



◆アルピコ、購入の意志なし

問 イトーヨーカ堂所有分の購入をアルピコグループに働きかけてはどうか。(古畑)

答 「営業形態として食料品以外の商品を扱っていないため取得できない」として断られた。

◆就職支援の状況は

問 全国的に高校生の就職内定率が低く厳しいなかで、ど

のような取り組みをしているのか。(古畑)

答 10月末現在、中信地域の就職内定率は63・2%となっており厳しい状況にある中で県は就職活動支援員を20名配置して生徒の就職活動を支援している。市は学校と企業との橋渡しや生徒の就職活動の支援をするセミナーの開催等を行っている。

◆産業廃棄最終処分場の住民説明会のあり方

問 県の「廃棄物の処理施設に係る指針」に基づき、事業者は、施設の概要説明をする際に対象とするエリアを概ね1kmの範囲の地区のみでおこなっている。市としては1km以内で充分であると考えているのか。(金子)

答 県の定めた指針では、最終処分場の周辺地域の範囲は、



東山区にある
既存の安定型廃棄物最終処分場

概ね1kmと定められている。市としては、関係地域の意見を聞く中で、必要ならば、関係地域を広げての説明会を事業者に求めていく。

◆車の解体施設設置に反対

問 洗馬岩垂と広丘堅石境に計画されている自動車解体及び破砕業施設の設置に反対する陳情書の扱いについての市長の考えは。(古畑)

答 住民の心配や不安な気持ちを、条例に基づいて意見書を出していきたい。

◆高ボッチ高原の自然保護

問 貴重な植物の抜き取り等に対する指導指針をいつまでに作成するか。(金子)

答 平成24年度をめどに策定したい。

安全性を
求める
まちづくり



◆農業用水確保と灌漑施設の更新や浚渫費用について

問 浚渫が必要な灌漑施設の更新計画は。(金子)

答 国の維持管理適正化事情など補助事業を活用し、オーバーホール等を行ってきた。

問 田川水系、四沢川の四沢

ダムの浚渫費用は。(金子)

答 貯水量1万5千mのうち、仮に4千mの土砂除去した場合少なくとも2千万円以上の工事費になるものと思われる。



大量の土砂が堆積している
四沢川の四沢ダム

◆公契約条例制定への考えは

問 千葉県野田市で公契約条例が制定されたが、条例制定についての塩尻市の考えはどうか。(柴田)

答 本市では、平成21年7月から公共工事の品質の確保と労働者の適正な労働条件を確保するために最低制限価格制度を導入している。この制度の適正な運用を図ることで従事する労働者の適正な賃金は確保できると考える。

◆都市計画道路の見直しを

問 市街地の南北を結ぶ広丘西通線及び東通線の市街化調整区域内の整備手法と一部ルートの見直しは。(永井)

答 都市計画道路の平成20年度末現在の改良率は、約61%で、土地区画整理事業等とあわせた道路整備は、難しい状況にあり、調整区域内の整備手法は、道路構造令の柔軟な運用による幅員の見直しや国の道路整備に係わる補助制度を活用し、事業効果の高い箇所を集中的に投資する。長期間未整備となっている路線は県が策定した、都市計画道路見直し指針に基づき、適切に判断するが、平成21年から22年度に県が実施する、松本市圏総合都市交通体系調査も念頭に準備を進めていく。



整備中の都市計画道路広丘東通線
(広丘吉田えびの子水苑付近)

